

みなさまの地域の食材や食文化を活かした産品を募集します!

全国への流通販路を持つ大手百貨店、流通、外食事業者等が“世界に通用する”地域の産品を選定し、作り手の想いととも消費者に届けます

応募対象

応募主体 生産者・食品製造 / 加工事業者等

対象産品 国産農林水産物の消費拡大に寄与する農林水産物・加工食品等の産品

※同一企業・団体から複数の産品を応募することができます

- 一次生産物全般
 - ・穀物類(米、麦、トウモロコシ、ソバ、大豆等)
 - ・野菜・果物・畜産(食肉、乳製品、鶏卵、蜂蜜等)
 - ・水産(魚介、海藻等)・その他
- 調味料(味噌、醤油等)
- 加工食品(麺類、菓子類、飲料等)
- 中食(弁当、惣菜)

募集期間

2016年7月19日(火)~8月31日(水)

審査方法・審査基準

一次審査(書類審査)

【審査基準】次の事項を参考にしながら、審査委員が総合的な評価を行います。

- ・国産農林水産物の消費拡大、あるいはその意識の啓発に寄与している
- ・地域の食材・知恵・技術等を活かしている
- ・生産者や産地の情報が明確に伝わるなど、消費者からの信頼を高める工夫がされている
- ・仕入れたい魅力を感じる
- ・類似産品にはない新たな工夫が感じられる
- ・ストーリーを感じる
- ・作り手の想いが伝わる
- ・美味しさを期待できる

【審査方法】

- ・全応募産品の中から一次審査委員による書類審査で「入賞」100産品を選定
- ・選定された産品が最終審査会(品評会)に進みます

最終審査(品評会)

【審査基準】最終審査委員が自社で販売したい産品であるかを基準に総合的な評価を行います

【審査方法】

- ・「入賞」100産品に対する品評会で、最終審査委員10名が自社のバイヤー等のサポートも得ながら「受賞」各1産品(合計10産品)を選定
- ・品評会には最終審査委員企業等のバイヤーが多数来場する予定です
- ・「受賞」10産品を表彰します

※品評会における産品の展示・試食提供等に必要な設備等は、会場を管轄する保健所の指導、および会場施設の衛生管理基準等に則した対応となります。予めご了承ください。

実施スケジュール

- 7月19日(火)~8月31日(水) 応募受付期間(全国から産品を公募)
- 9月上旬 一次審査委員による書類審査にて「入賞」100産品を選定
- 9月下旬 応募者に一次審査結果を通知(最終審査会 詳細案内を通知)
- 10月19日(水) 最終審査会(品評会)にて最終審査委員が「受賞」10産品を選定
- ~2017年3月 本アワードとタイアップした催事等の企画を最終審査委員企業で実施いたします

応募方法



詳しい応募方法は

フードアクションニッポンアワード

検索



フード・アクション・ニッポンとは

日本の食を次世代に残し、創るために民間企業・団体・行政等が一体となって推進する国産農林水産物の消費拡大の取り組みです。

主催:農林水産省 後援:観光庁

「フード・アクション・ニッポン アワード 2016」事務局 住所:〒153-0062 東京都目黒区三田2-7-6 目黒フラット1F
TEL:03-6452-3990 FAX:03-6451-2621 Mail:fan_award@syokuryo.jp (営業時間:平日9:30~17:30 ※土日祝、年末年始休業を除く)

第8回

フード・アクション・ニッポン アワード 2016

挑む、繋ぐ、味わう『究極の逸品』

地域の食材や食文化を活かした魅力的な産品を発掘する
コンテストを開催します!



日本の流通を支える超一流の審査委員

最終審査会(品評会)にはバイヤー、メディアが多数来場

全国への販路拡大・PRの場に

募集期間 2016年7月19日(火)~8月31日(水)

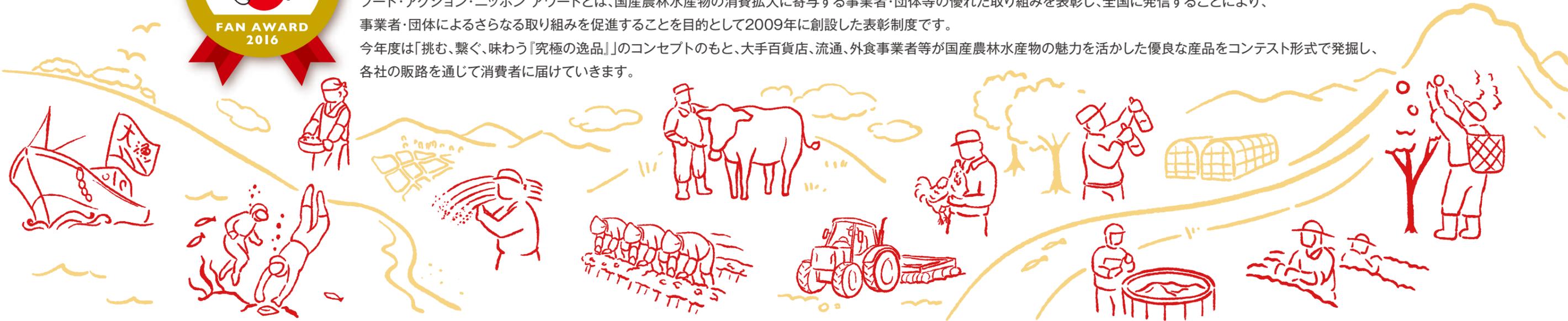
農林水産省



全国への流通販路を持つ大手百貨店・小売店・外食事業者等に 地域の食材・食文化の魅力や作り手の想いを知ってもらうチャンスです

フード・アクション・ニッポン アワードとは、国産農林水産物の消費拡大に寄与する事業者・団体等の優れた取り組みを表彰し、全国に発信することにより、事業者・団体によるさらなる取り組みを促進することを目的として2009年に創設した表彰制度です。

今年度は「挑む、繋ぐ、味わう『究極の逸品』」のコンセプトのもと、大手百貨店、流通、外食事業者等が国産農林水産物の魅力を活かした優良な産品をコンテスト形式で発掘し、各社の販路を通じて消費者に届けていきます。



一次審査を通過した100産品は品評会で最終審査委員に直接アピールできます

最終審査委員 (予定)



アマゾンジャパン合同会社
バイスプレジデント
前田 宏



イオンリテール株式会社
代表取締役社長
岡崎 双一



株式会社イトーヨーカ堂
代表取締役社長
亀井 淳



株式会社紀ノ國屋
代表取締役社長
桑原 健



株式会社東急百貨店
代表取締役社長
二橋 千裕



株式会社トランジットジェネラルオフィス
代表取締役社長
中村 貞裕



株式会社阪急阪神百貨店
代表取締役社長
荒木 直也



株式会社フォーシーズ
代表取締役会長兼CEO
浅野 秀則



株式会社三越伊勢丹ホールディングス
代表取締役社長執行役員
大西 洋



株式会社ローソン
代表取締役 会長CEO
玉塚 元一

一次審査委員 (予定)

最終審査委員企業のバイヤー等10名

※最終審査委員および一次審査委員は、予告なく変更される場合がございます。

最終審査会 (品評会)

開催日 2016年10月19日(水) 14:00~19:00 (13:30~受付)

会場 リーガロイヤルホテル東京 3階 ロイヤルホール

プログラム(予定)

<第1部>

シンポジウム 基調講演 14:00~14:40

基調講演(予定)

「地域の優れた産品をヒットさせるには」



株式会社
地域活性プランニング
代表取締役
藤崎 慎一

1986年、株式会社リクルート入社。地域活性化事業部GMを経て2003年に独立。ご当地グルメの先駆け「富士宮やきそば」のまちおこしに関わる他、観光庁「ロケツーリズム連絡会」座長、内閣官房「ふるさとづくり有識者会議」を歴任し、ロケとグルメによる住民参加型の地域活性化を実践。第1回・第2回「究極のお土産」を総合プロデュース。

「消費者の心をつかむ商品について」



株式会社
三越伊勢丹ホールディングス
代表取締役社長執行役員
大西 洋

1979年伊勢丹に入社。以来紳士服部門を歩み、2003年新宿本店メンズ館立ち上げ時には、担当部長として陣頭指揮を執る。2012年より現職。「人を大切にする経営」をモットーとし、従業員への適正な評価をはじめ、人事制度改革に着手。小売業界の課題であるサプライチェーン改革に全力を注ぐ。

パネルディスカッション 14:40~16:15

地域の優れた産品を発掘し消費者に届ける上での課題をどう解決すべきか、最終審査委員数名が登場し、参加者の声も交えながら議論します。

<第2部>

品評会(最終審査) 16:30~18:00

10名の最終審査委員が入賞産品の中から「受賞」各1産品を選定。審査委員以外にもバイヤーや流通のプロが多数参加します。

審査結果発表 18:15~19:00

入賞産品から選ばれた10産品が発表されます。メディアの注目度も抜群です。